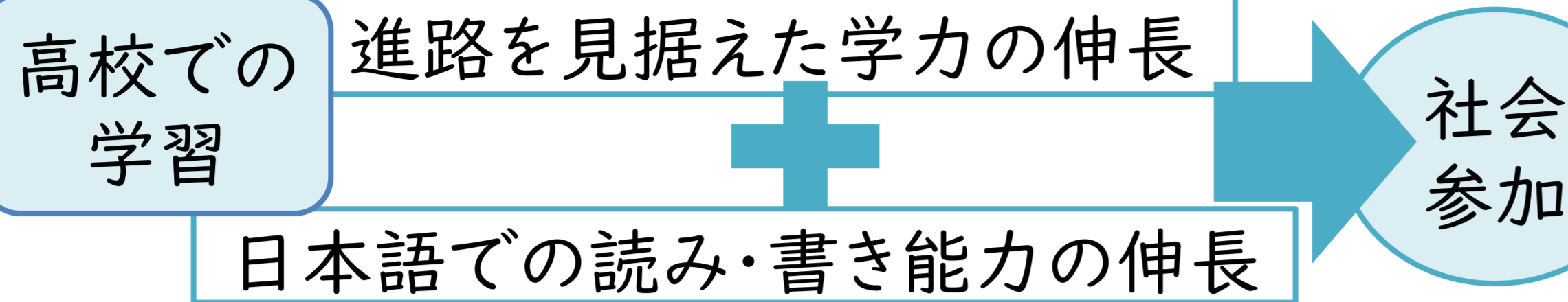


### 1. 研究の背景と目的

#### 【背景】



【目的】来日1~3年の生徒が日本語で書いた意見文に現れる、文章を構成する「主張」と「根拠」を、内容と言語に関する知識に着目して分析し、日本語指導への示唆を得る。

### 2. 先行研究

● Scardamalia & Bereiter(1987)  
作文を書く  
= **内容に関する知識**  
+ **言語に関する知識**

● 田近・井上編著(2009)  
意見文  
= 「ある物事・見解などについての考えを、**根拠を明確にして、論理的に述べ表した文章**」

● 生田(2006)  
「**構成と内容**」には  
母語と共有する  
知識の転移あり

● 槌田・今井(2008)  
主張の**根拠の有無**  
**三部構成(序論・本論・結論)**  
の有無が重要

⇒ 高校生は母語の能力があり、母国での学習経験もあるため、構成と内容に特徴が現れると考えられる。

### 3. 研究方法

#### 【データの概要】

対象生徒: 特別入学枠で高校に入学した1年生15名(表1)  
分析対象: 「外国語が上手になる方法」についての作文15編  
実施時期: 2018年4月  
実施方法: テーマを口頭および板書で掲示  
辞書使用不可、約30分、400字詰め原稿用紙手書き

#### 【分析の方法】

- ① 文章が序論・本論・結論の三部で構成されているか。
- ② 挙げられた複数の考えをどのように関連付けているか。  
(「上手になる方法」の関係を表す標識の有無(数))
- ③ 「上手になる方法」と対応する理由が述べられているか。  
(「方法」の数、「方法」とその理由の有無、理由の根拠のタイプ)

### 4. 結果

#### 【結果①】文章構成

三部構成ありの作文	三部	9
…中国の生徒に多く見られる。	二部	5
二部構成の作文…結論の欠如	本論のみ	2
二部・本論のみ…フィリピンの生徒に多く見られる		

#### 【結果②】接続関係を表す標識の有無

全く示されていない作文  
…7編(本論のみも含む)  
標識を用いているもの  
…8編(うち三部構成が5編)

#### 【結果③】「上手になる方法」と理由の対応 〈「上手になる方法」について〉

- 15名全員が方法を挙げ、うち13名は複数の方法を挙げている。
- 〈「上手になる方法」とその理由について〉
- 直接学ぶ方法への言及が多い(例:本を読む等)
- 11名は他者との交流(例:行事に参加する)や言語学習の管理(例:試験を受ける)に言及
- メタ認知・社会的側面から自身の語学学習を把握
- 〈理由の根拠について〉

知識	〈方法〉	単語を覚える
	〈根拠〉	文を作ることができません
経験	〈方法〉	聞くこと
	〈根拠〉	ドラマなどを見ます。その中でたくさんしゃべるとき使う言葉を学ぶことができます。
推論	〈方法〉	イベントに参加したりする
	〈根拠〉	色んな人と関わることができるから、コミュニケーションも出来るようになります。

表1 生徒の出身国と分析結果(網掛けはN2レベル、その他はN3レベル)

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
国	フ	フ	フ	フ	フ	フ	中	中	中	中	中	パ	パ	韓	ペ
文字数	374	319	229	154	367	137	375	204	344	380	285	578	360	298	317
文数	13	7	8	7	10	5	13	9	16	16	12	15	8	9	12
構成(①)	三	一	二	二	三	一	三	三	三	三	二	二	三	二	三
標識(②)	0	0	0	2	0	0	3	2	3	3	3	3	0	0	3
方法(③)	2	6	1	2	5	7	4	2	3	2	3	3	4	1	4
理由(③)	2	2	1	0	0	0	3	2	1	0	1	3	2	1	3

#### 作文例

No.7	No.13	No.6
(略)最初は文法の学習だと思います。(略)文法ができた後、次は単語の覚えることです。文法が分かったら、単語が分からないのは文を作ることができません(知識)ので、単語を一生懸命覚えなければなりません。/これらを全部できたら、最後はしゃべることと聞くことです。私は自分の外国語の学ぶ時、よく日本語と英語のドラマなどを見ます。その中で、たくさんしゃべるとき使う言葉を学ぶことができます(経験)。(略)	外国語が上手になる方法はたくさんだと思います。(略)何か覚える時努力することがすごく大事だと思います。私も日本に来たとき日本語がぜんぜん分かりませんでした。毎日生活の中で覚えたことを会話をするとき使ったり、分からないことをどんどん聞いて覚えたりしていました。その結果今日本語を聞いてその理解する力がすごくあると思います(経験)。(略)	(略)けど、一番良いのは、その知りたい外国語の国のぶんかを知ることです。日本では、すし食べてみたり、かわいいものをきたり、祭りや、色んなイベントに参加したりすると色んな人と関わることが出来るから、コミュニケーションも出来るようになります(推論)。
【構成の整い、考えが根拠とともに論理的に示された作文例】 ・接続関係の標識の使用あり ・言語学習の効果的な進め方を知識と自分の経験を根拠に記述	【方法と根拠が示されているが段落内での構成が不十分な作文例】 ・三部構成あり ・自身の考えを詳しく述べている	【本論のみで、方法の列挙が中心である作文例】 ・標識の使用なし ・他者との交流を根拠に
↓	↓	↓
!局所的な文法の誤りが目立つ。	!標識がないため、方法を選択した理由が分かりづらい。	!日本語の文章構成する力に課題がある可能性あり

斜体文字…接続関係の標識、下線部…方法、網掛け…理由の根拠

### 5. 考察

- ・ 15名は、第二言語である日本語の力に差があるが、経験などを根拠に言語学習の方法を作文に表せている。→ **内容に関する知識を生かせる課題設定が重要**
- ・ 文章構成や接続関係の標識は使用がなく、考えが伝わらない作文があった。→ **日本語の知識に応じた指導が必要**
- ・ 母国での学習経験の影響が見受けられた。→ **母語で培った作文の力の把握が重要**

#### 【参考文献】

Scardamalia, M & Bereiter, C. (1987) "Knowledge telling and knowledge transforming in written composition" *Advances in applied psycholinguistics*, 2 pp. 142-175  
生田裕子(2006)「ブラジル人中学生の「書く力」の発達--第1言語と第2言語による作文の観察から」『日本語教育』日本語教育学会 128 pp.70-79  
田近洵一・井上尚美編(2013)『国語教育指導用語辞典』教育出版 第4版  
槌田和美・今井美登里(2008)「留学生の文章のわかりにくさの原因を探る:アカデミックライティングの効果的指導のために」『桜美林言語教育論叢』4 pp.25-42